

病院実習が始まりました！



こんにちは。順天堂大学 4 年の金岡祐樹です。

久しぶりにブログを書いています。

今回は医学部生がどんなことをしているか、ほんのちよっただけ紹介してみようと思います。

少しでも興味を持ってくれたら嬉しいです！

1 年生

一般教養。所謂パンキョーというやつです。とにかくいろんな分野の勉強をします。物理学や化学実験などの理系分野はもちろん、日本国憲法や経済学、さらには美術、音楽なども選択することが出来ます。進級のために必要な単位数が決まっているので、自分で履修を組んで時間割を設定します。

毎回教室も、隣に座る人も違うので、とても新鮮でした。このころやけに私の隣に座ってきた木村亮介君という青年とは、なぜだか今も仲が良いです。

ちなみに私は美術の単位を落として、木村君と共に「仮」進級となりました。



2 年生～4 年生の途中

いよいよ医学の勉強が始まります。まずは基礎医学からです。一番印象に残っているのは人体解剖です。3 か月ほどかけて一体のご遺体を頭から頭の前まで解剖させて頂きました。はじめてメスを入れた瞬間は今でも覚えています。緊張と共に、改めて医学部で頑張ろうと決意しました。初心忘れるべからず。

ちなみに解剖のペアは木村君でした。彼は非常に優秀でしたが、私の指をメスで切りました。今でも恨んでいます。

その後臨床医学の勉強へと進み、今度は病気について詳しく学んでいきます。とにかく暗記量が多いので、系統化して効率よく暗記をしていく必要があります。大学受験も同じです。暗記が不得意と感じている皆さんは、情報をグループ化してまとめて覚えていきましょう。

順天堂大学の場合、4 年生の 8 月に CBT、OSCE という全国共通テストがあり、それに受かると student doctor の資格を得られ、晴れて病棟に出られます。

病棟実習のことを BSL (Bed Side Learning) と言います。文字通り患者さんのベッドサイドでの学びです。教科書での勉強はもちろん大切ですが、それ以上に患者さんと直接お話をして得られる学びは本当に貴重です。患者さんに寄り添えるお医者さんになりたいと思います。←これを面接で言ったら受験合格しました。

5, 6 年生のお話はおいおいしていきたいと思います。

ついでに木村講師の話も機会があればさせて頂きます。

今回はこの辺で。

寒くなってきましたが、体調には気を付けて勉強頑張ってくださいね！

